



『一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会 定時総会』 が開催されました！

副会長 浅沼 郁子

5月26日(日)、定時総会が開催されました。本年4月1日に法人格を取得し初めての総会は、一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会の設立総会となりました。群馬県社会福祉総合センター8階ホールに、委任状を含め会員の3分の2を上回る出席数の中、折茂 賢一郎会長による『設立宣言』が厳かに行われました。折茂会長は、今後、法人格をもって社会貢献に努めていくと共に、ケアマネの資質及び地位の向上のために、これまでの経験を糧としてさらなる飛躍を遂げていきたい。それには会員一同の協力が必要、と訴えました。

続いて来賓の方々より祝辞を頂戴しました。県介護高齢課 黒岩隆次次長より、地域包括ケアシステムの中で公正・誠実な業務を行うと共に、それぞれの立場で高齢者福祉の発展に貢献するよう、益々の活躍を!とエールを頂きました。県社会福祉協議会 下条茂雄会長は、高齢者の質の高い生活を支えるケアマネジャーへの期待は大きい。利用者の立場に立ったケアマネジメントを提供されたい。と話され、本会に対してのできる限りの協力を約束して下さいました。また、県老人保健施設協会 高玉眞光理事長は、各種職能団体が結集し本会の前身が誕生した時からの13年間を振り返り、ケアマネジャーの努力の成果が現在の介護保険制度・サービスに生きている。皆の力を発揮し、協力し合って今後も発展を続けて欲しい、と激励して下さいました。

議事に先駆け、高橋正彦氏(館林支部長)が議長に就任し、石井夕紀氏(桐生支部役員)が議事録署名人に選任されました。平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度事業計画案・予算案。続いて、本会



の会費について審議され、全ての議案が可決承認されました。次に、前身の群馬県介護支援専門員連絡協議会の設立準備委員長であり、初代会長を長年務められた 高玉眞光現相談役を名誉会員にと提議され、盛大な拍手の中、全会一致で承認されました。

爽やかな初夏、法人化と共に生まれ変わり新たな決意を固めた、記念すべき一日となりました。

記念講演

～色彩ケア～

あなたを輝かせる色 色カルタ・クオリアゲーム

NPO日本パーソナルカラー協会理事

彩色ケア・クオリア研究所主宰 三浦 南海子 先生



5月26日(日) 定時総会後の記念講演で、鮮やかな青いジャケット姿の三浦南海子先生がスマートな語り口調で色彩についてお話をしてくださいました。日頃、色彩についてあまり気を留めることがない私でしたが、どんなお話しなのか興味津々で引き込まれるように聞き入ってしまいました。

前半は、色彩の基礎知識の確認から始まり、私世代の女性ならとても気になる上衣と顔のしみやしわの関係についての内容でした。顔色の映りは、

着ている上衣の色に同化し、高明度色の上衣(白)は、顔色を明るく見せてしみやしわを隠すが、低明度色(黒)はその反対だけれども小顔効果があること。また、清色(赤やオレンジ)は顔にハリをだす反面、しわや線が目立ちきつい印象を与える。反対に濁色(レンガ色やあずき色)は、ぼやけた感じだけれどソフトな印象を与える。こういった色の特性から、できれば仕事着は自分の好きな色ではなく、相手にとって顔映りのよい健康的に見える色の服を着てはどうか。時々でも施設で私服を職員が着用することを取り入れることを勧めたい。また、高齢者に明るくきれいな色の洋服を身に着けていただくことや、口紅をつけていただいてはどうか等のご提案がありました。

そして後半の続きは、認知症高齢者に色を取り戻すことで刺激を促すことができるというお話でした。色カルタクオリアゲームという、色彩カルタを用いた手法の紹介でした。色彩カルタを使い認知症高齢者に向き合い、リーダーはひたすら傾聴を続けることが大事でゲームを通して、その人らしさやその人の心の響きに触れることができる。そしてその方の歩んできた道や好みを伺うとストーリーが分かり、生き甲斐に向けた支援の手掛かりがみつかる。ケアマネジメントで大切なその人の望む生活を知ること、ケアマネジャーがその人らしさに寄り添う気持ちを大切にしなければならないことを再確認しました。普段、意識していない「色」にこんな力があり、当たり前が存在するものが視点を变えるだけでこんな風に活用できるのか等、短い時間の中で沢山のことを気づかせてくださいました。三浦先生は、一般社団法人初めての総会に素敵な色を添えてくださったように思いました。

最後に会員の皆様、あなたの「初恋は何色ですか。」また、あなたの「人生は何色ですか。」イメージしてみてください。

大澤 伸子

祝 群馬県介護支援専門員連絡協議会 初代会長 高玉 眞光先生 瑞宝小綬章を受章

平成25年春の叙勲の受章者が発表され、保健衛生功労で群馬県介護支援専門員連絡協議会
高玉 眞光初代会長が受章されました。

高玉 眞光先生に喜びのコメントを頂きました。



今年の4月初め、県の医務課からお知らせがありました。春の叙勲に際し、群馬県知事の推薦で「瑞宝小綬章」を頂けるとのお話でした。長い間、地域の病院長として診療と福祉に携わってきたことが認められ、叙勲を頂ける元になったものと思われま

す。平成10年からは介護保険の発足にあたって、最初の介護支援専門員の資格をとり、間もなく群馬県介護支援専門員連絡協議会を発足させる時に会長を務めました。他、色々な職種の会長を務めましたが、群馬県介護支援専門員連絡協議会は、どの会よりも素晴らしい副会長や理事の集まりでした。医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、接骨師、社会福祉士、介護福祉士、ヘルパーの方々の集まりは、多職種連携が叫ばれている今より15年前に既にスタートしていました。

超高齢社会になった今、認知症や身体が不自由になったお年寄りの医療と介護は、介護支援専門員の方々のお力によって切り抜けていかなければなりません。

今回の叙勲は、介護保険を地域に定着させ、多くのお年寄りに夢と希望を支援するお仕事をしている皆様と共に受章したものだと思ひます。

これからも折茂会長を支えて、益々一般社団法人群馬県介護支援専門員協会が、多くの人々に役立つケアマネジメントをして頂くようお願いいたします。

平成25年度 ブラッシュアップ研修のお誘い

学術研修委員長 安藤 繁

当委員会では、「地域密着型ブラッシュアップ研修」というものを実施しています。これは、各支部の要請を受けて学術研修委員が支部研修のお手伝いをするというものです。

研修内容は、事例検討会やケアマネジメント各論、ICF やリハビリテーション、救命救急や医療分野などの知識や技術について、座学や演習を通して学んでいただくものです。今年度も要請に基づいて実施することになりましたので、ぜひ、気軽に支部長さんや役員さんに「こんなことを学んでみたい」と声をかけてみてください。

講師のスケジュールにもよりますが、夜間や休日でも今まで実施してきました。何かというと地元ではなく遠くまで出かけなければ… という面倒感や手間がありませんので、有効に使っていただければ委員会としても嬉しいかぎりです。

尚、今年度より国内外で最新の知見として注目されている“ICF Staging”（ICFコードに基づいた科学的指標による人間の機能測定）をレパートリーに加えましたことを付記しておきます。

最後に、9月8日に高崎市で開催される「ケアマネジメント群馬フォーラム X in 高崎」に多くの皆さまが参加され、その後の地域密着型ブラッシュアップ研修につなげていただければ、このうえないことと考えておりますので、よろしく願いいたします。

「理事会・各委員会 4～5月の活動報告」

理事会

会長 折茂 賢一郎

第1回理事会（4月24日）は法人化しての初の理事会でした。長く総務財政委員長をお世話になった細野理事の退任後は松澤副会長が委員長を務めること、さらに高橋正彦委員を選任すること、また一般社団法人化に伴い会計事務所の選定などが討議されました。第2回理事会（5月20日）は第1回総会に上程する案件や一般社団法人を祝う会等についての議論が主でした。

総務財政委員会

総務財政委員長 松沢 斉

総務財政委員会は、しばらくメールのやりとりで委員会開催に代えてきましたが、今回は5月13日に久しぶりの会合を持ちました。「総会」に上程する「予算・決算」や「会費規程」などを決めましたが、今まで事実上一人で全てを請け負ってきた細野前委員長の苦労を改めて思い知った次第です。細野先生、今さらですが本当にお疲れ様でした。ひとまず今年度は私が委員会をお預かりしますので、会員の皆様「新規入会促進」・「会費滞納阻止」にぜひともご協力くださいませ。

学術研修委員会

学術研修委員長 安藤 繁

新年度を迎え、委員会では恒例の「ケアマネ受験対策講座」の準備にとりかかりました。愚痴や弱音と言われようと、その準備から終了まで質・量ともに本当に大変な作業です。

ぜひ、皆さま、受験対策講座の受講者募集にご協力をお願いいたします。受講し学べば、合格間違いなし…なのですから。

広報情報委員会

広報情報委員長 藤田 東洋子

5月10日に平成25年度、第1回の委員会を開催しました。委員会の内容として7月1日に発行予定である会報80号の紙面検討を行いました。今後の情報発信の方法として、ホームページ、SNS（Facebookなど）について検討しました。皆様のお役に立つような情報が届けられるように委員会として活動したいと考えております。

お詫びと訂正

5月1日に発行いたしました「ケアマネ群馬 会報 No.79」におきまして、記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

4面（正）「理事会・各委員会 2～3月の活動報告」

関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

ケアマネジメント群馬フォーラムX in 高崎 実行委員会報告

本年9月8日(日)の開催に向けて、ケアマネジメントフォーラム委員会は毎月開催をしております。大会のプログラム内容についての詳細もほぼ決定し、皆様からの参加申込を開始する時期まで来ております。

今年も昨年の大会同様に、午前中は教育講演、ランチョンセミナーを2会場で開催し、午後には6つの会場に分かれてのセッションとなっています。セッションの中には前半、後半と2回開催する内容もあり、事前申込を行って頂くことにより2つを選ぶこともできます。

「技術としてのケアマネジメント」のために、会員の皆様、非会員の皆様も是非、ご参加下さい。居宅介護支援事業所に勤務される方のみではなく、各施設内でケアマネジャーとしてお仕事をされている方も、きっと日常業務に役立てることが出来ますよ。

ケアマネジメント群馬フォーラム実行委員長 須田 和也

ケアマネ受験対策講座 2013 開催のご案内

群馬県介護支援専門員協会主催によるケアマネ受験対策講座が例年どおり開催されます。

今年度は『介護支援専門員実務研修講師および現任研修講師らがレクチャーする副読本付き・3コース選択式ケアマネ受験対策講座 2013』と銘打ち、介護支援専門員を目指す皆さまにとって、より有効な講座を開催することとしました。

会員の皆様のお近くに受験対策講座受講のご希望の方がおりましたら、是非、お声かけ頂きたいと考えております。ケアマネジャーとして1人でも多くの仲間が増えるように皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報情報委員 須田 和也

澁川支部

連絡先：TEL 0279-56-9201

25年
5月23日

☆25年度第1回総会

- 1号議案 一般社団法人移行に伴う支部規約の改正について……承認
- 2号議案 24年度事業報告……承認
- 3号議案 24年度決算……承認
- 4号議案 25年度事業計画……承認
- 5号議案 25年度予算……承認

24年度から実施した『地域医師会による介護支援専門員・介護職員への在宅医療講演会』（勇美記念財団補助事業）は、25年度上期（2回）で終了となるが、医師会より年1回の継続を提案していただき、25年度下期に1回計画する。この対応のため、事業費積立を行った。

☆定例会 ①フィリップス緊急通報サービスの紹介

フィリップス・レスピロニクス合同会社

（行政の実施している緊急通報サービスの対象外の方が主な対象となるが、転倒感知自動通報等技術の進歩の凄さを感じた。費用は掛かるけど…）

②咀嚼・嚥下について ～その基礎知識と低栄養改善～

株式会社 明治

在宅要介護者の30%が、低栄養と推計されている。

一日のエネルギーの摂取量は減少するが、必要栄養素量は変化しない。バランスのとれた食事を効率良く摂取することが求められる。

（在宅での食生活を考えると難問に感じた。居宅療養管理指導費を含めどのような対応がよいのか？）

③情報交換の時間を設けずに終了したが、皆さん終了後も各々情報交換を行っており、定例会では情報交換の時間を設ける必要性を感じた。

（特別養護老人ホーム 清流の郷 村上 忠明）

伊勢崎支部

連絡先：TEL 0270-20-3672

4月25日（木）、伊勢崎佐波ケアマネジャーの会、第13回定期総会が開催されました。その後、東京福祉大学大学院教授の秋山智久先生より「人生における仕事の意味 ケアマネジャーの辛さと喜び 何が支えるのか」と題した基調講演がありました。

<定期総会> ①平成24年度事業報告収支決算について（承認）

②平成25年度事業計画収支予算について（承認）

③役員変更について 新役員 会長：岡田稔氏、副会長：島田幸治氏、顧問：秋山智久氏（承認）

<基調講演>

人生とは「限られた時間を何かに代えること」であるという話から始まりました。私たちケアマネジャーが利用者さんに寄り添い、並走する上で利用者さんの人生を、想像し解ろうとする努力は必須です。「人生」というフレーズは範囲が広く掴みにくいものでしたが、具体的な表現で説明していただくと理解への筋道が見えたように思いました。また、利用者さんの価値観を理解することも重要な視点であると学びました。



（ケアサービス鶴谷 竹内宗之祐）



<新会長（支部長）挨拶>

この度、会の会長に選出されました岡田稔です。現在は東京福祉大学社会福祉学部在職しております。専門はケアマネジメント、介護福祉です。現場のケアマネさんが、少しでも悩まず、負担を感じることなく、やりがいを感じながら、ケアマネ実践が行えるように会の運営とサポートができればと思っています。よろしく願いいたします。（東京福祉大学 岡田 稔）

事務局からのお願い

会費納入について

平成25年度会費のお振込がお済みでない方は、お手数ですが下記口座にお振り込みをお願いいたします。当協会は会員の皆様の会費で運営しております。

より良い会を目指して役員・支部長・委員会委員等頑張っております。是非ご協力の程をよろしくお願いいたします。

会費振込先

- 取扱銀行 ゆうちょ銀行
- 口座番号 00540-0-63399
- 口座名
一般社団法人群馬県介護支援専門員協会
*** 他金融機関からの振込用口座番号 ***
〇五九(せごま)店(059)
当座 0063399

金額

- 1 一般社団法人群馬県介護支援専門員協会会員
4,000円
- 2 日本介護支援専門員協会&一般社団法人群馬県介護支援専門員協会会員 9,000円
- 3 賛助会員
1口5,000円を2口以上でお願いいたします。

※いずれも継続会員様の年会費金額です。

新規入会をご希望の方は本会事務局にお問い合わせください。

広告を載せてみませんか？

会報誌への掲載広告主を募集します。

本会会報「ケアマネ群馬」へ広告掲載を希望される会員・会員以外の団体、事業者様を募集しております。現在年6回の広報誌として発行しており、本会会員・賛助会員の皆様に配布しております。広告等の掲載をご希望の方は事務局までお問い合わせください。

なお、**掲載可否については、内容確認のうえ本会理事会に一任いただきます。**

●掲載に係る費用：

- 1 回当たり、A4 版紙面を基準として、
- 1/2 紙面の場合 20,000 円 1/4 紙面の場合 10,000 円
- 1/8 紙面の場合 5,000 円

※いずれも会員の場合です。会員以外の場合は1.5倍の値段となります。

一般社団法人群馬県介護支援専門員協会事務局（群馬県社会福祉協議会 福祉サービス支援課内）

TEL 027 - 255 - 6226 FAX 027 - 255 - 6173 事務担当 伊藤

編集 後記

私事ですが、所属する法人内で異動があり、今年度より新しい職場で業務をすることになりました。事業所が変わったため担当させていただく利用者さんも全て変わりました。異動は大変ですね。そんな時、上司から「自分を保ってね」と魔法の言葉をかけていただき、不安定だった気持ちが楽になりました。現在、新たな職場でがんばっています。今年度も会報、ケアマネ群馬をよろしくお願いいたします。(S、T)